



歓迎

第100回記念 全旅連全国大会 i n 東京

開催日：令和4年9月13日(火)

場 所：ホテルニューオータニ

●受付開始12：00～

●記念式典13：00～16：30

●大懇親会18：00～

●協賛業者展示12：00～17：30

大会テーマ

「全旅連SDGs元年 未来の宿づくりに向けて」
～プラスチックの資源循環と食品ロス対策～

会長あいさつ

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長 多田 計介



全国の組合員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、私事ではありますが、本年が3期6年の総仕上げの年であり、次代を担う人材へ継承する年でもあります。思い起こせば多くの皆様に厚いご支援・ご協力を賜りましたことを無上の喜びとし、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

さて、長らく続いたコロナの影響により私たち宿泊業は大きなダメージを受けました。この影響により、これほど不条理という言葉をも痛感したことはありません。こうした中、第100回全旅連全国大会を東京で開催する運びとなりました。私は本大会が宿泊業として歴史的な大きな転換点であり、何よりも原点に立ち返る大会だと思っております。思い起こせば官民一体となったクール・ジャパンからビジット・ジャパンへとつながったインバウンド政策は、私たちに明るい未来の道標（みちしるべ）を指し示していたと思います。いまこそ、このような道標が私たちに必要なのであります。しかしながら、その道標を今までのように単に待ち受けていたのではないかと思います。

今回のコロナ感染という悪夢のような出来事は、あらゆる分野や個人のライフスタイル、価値観まで幅広く変えました。三密を避けるために企業のテレワークが進展し、地方がわずかではありますが見直され郊外へ移り住む人も出てきており、東京一極集中の神話が崩れるかもしれません。そういう意味では、地方が見直される傾向でもあると思います。言い方を変えれば多様性の開花です。

また、「ワーケーション」という「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語まで生まれ、私たち宿泊業にとっても新しいキーワードも生まれました。つまり、どのような苦境下においても、そこに難儀があれば、裏を返せば商機があるということでも

あります。能面はうつむくと悲しい表情になり、仰向くと喜びの表情になるといわれています。つまり、嘆いてばかりいては何も始まらないということでもあります。今こそ苦しくとも顔を上げ、一歩前へ踏み出そうではありませんか。

そして、私たちが観光産業をけん引する立ち位置にあるということを再確認し、地域のリーダー役であるということを自覚しようではありませんか。幸いにも、全旅連の活動は生活衛生という面だけでなく、観光立国の推進・振興にも大きく関与できるようになりました。国も私たちの活動に大きく期待しており、今後、その期待に応える百年にしていかなければなりません。

またこれからは、地域貢献、社会活動にも積極的に取り組み、地域とともに歩む旅館・ホテルであるということをより鮮明に打ち出す必要があります。今回の大会テーマにも『全旅連SDGs元年 未来の宿づくりに向けて』と掲げましたが、アメニティ等の「脱プラスチック」、食品ロスの低減といった地球環境に優しい取組み等、その内容だけでなく活動姿勢を積極的にアピールしていこうではありませんか。これらのことを踏まえ、全旅連組織としてSDGs活動に積極的に取り組むということを本大会において内外に宣言しようと思います。

そのために今以上に、より強固なスクラムを組む必要があります。そして、本大会をそのための決起大会にしたいと考えております。確かに私たちは目の前の経営も大切です。しかし、その経営がこれからの百年先も成長し続けるためにも、本大会に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

全旅連保険は

「万一の場合に宿泊・利用客に対して十分な補償をすると共に、旅館・ホテルの経済的な負担の軽減に寄与する」ことを目的としています

保険のご相談は

事故のお受付は

全旅連保険相談室 0120-087-484
(平日09:00～17:00)で承ります東京海上日動安心110番 0120-119-228
(24時間365日)で承ります

全旅連保険代理店

全旅連事業サービス株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5

TEL 03-3263-4429 FAX 03-3263-0220